

The 2 Chome Times 平成28年3月号

NO1のプレミアムストリートをめざして



NO214.

2016・3・25.

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス3月号

編集：企画・商業振興部、編集長：芹澤邦明

<http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com

★家住利男展—ガラスの奥へ— 三木市立堀光美術館

平成24年にストリートミュージアム第7作目となるガラス作品「ヤヌスの誕生」を収蔵しましたが、その作者の家住利男先生の講演会が3月5日三木市立図書館で開催されました。先生の作品は三木市立堀光美術館で展示されていましたが、講演会は去年竣工した図書館で行われました。現代アートを代表する作家である家住先生は29歳の時に初めてガラスに魅了され、以後30年間作品を制作されています。講演会では今までの作品を映像で紹介して頂き、「ガラスの向こう側・透明・奥の世界へ」というテーマの講演でした。先生は30年間繰り返しガラスを削ってきて、自身の関心が何処にあるのかを気付かされたそうです。つまり、表面的に見えているものだけではなく、ガラスの奥、そしてその向こう側の世界を極める感性を探し続けておられるそうです。ガラスは「削る、磨く」の繰り返しであり、目線を内側に向けると、その世界が中に向かって入って行くので、形よりもマチュール(質感)が大事なのだとか。作品の置き方によっても世界観が変わるのだそうで、その例として、次の記事で紹介しているイタリアのモランディの作品を紹介されていました。やはり講演の内容はかなり専門的で難しいものでしたが、家住先生のお話はとても柔らかで、そのお人柄はとても魅力的でした。芸術の奥深さを改めて感じ、非常に有意義な講演会でした。



★ジョルジョ・モランディ ~終わりなき変奏~

兵庫県立美術館で開催されていた、ジョルジョ・モランディ展を観に行ってきました。20世紀イタリアを代表する画家ジョルジョ・モランディは生まれ故郷のボローニアを生涯離れる事なく作品を創り続けました。彼の作品の多くは卓上の花瓶など身近なモチーフを描き、淡い色調と形態が単調には見えますが、繊細に響き合う作品です。構図の研究にも熱心で、何回も同じ位置に陶器などを置いてその絵を描くというこだわりようでした。作品自体は皆大きいものではなく、飾れるさりげない物ですが、モランディのこだわった“配置”と“構図”に感心しました。小さなものに秘めた情熱を感じました。とても素敵な展覧会でした。なおこの展覧会は下記の会場に巡回します。チャンスのある方は足を運んでみて下さい。



(詳しくはそれぞれの会場の名前で検索して下さい)

2016年2月20日~4月10日 東京ステーションギャラリー

2016年4月16日~6月5日 岩手県立美術館

★感謝をこめて Thanks 沖縄・ANA/SNA

今年で8回目になる「KOBE 夢・未来号」にいつも多大なる御協力を頂いています沖縄の皆さん、全日空様、ソラシドエア様に感謝の意味を込めて神戸の街衆が沖縄を訪れる

「Thanks 沖縄・ANA/SNA」を今回も4月の19日(火)から21日(木)に実施することを皆様にお伝えしたところ、沢山の方々のお申込みを頂きました。この旅行の趣旨を神戸の街衆の皆様が御理解頂き、感謝の気持ちで一杯です。また、毎回初日の夜は沖縄と神戸の交流が開かれ、沖縄からは安慶田副知事、城間那覇市長さんをはじめ各界の名士の方々、神戸からは岡口副市



長、小柴コンベンション協会会長をはじめ、ゆうに 200 名を超える参加者で楽しいひと時を共有し沖縄と神戸のさらに強い絆を感じているしだいです。神戸の街衆の熱い想い、本物ですよ。

★街の想いはお客さまとともに～おとな旅・神戸 三宮センター街老舗ツアー

2013 年からスタートした神戸のガイドツアーおとな旅・神戸 三宮センター街でも、振興組合の藤井理事が、老舗商店をめぐるツアーとして昨年から 4 回実施しています。2 月 26 日には市内外から 6 名の方が参加され、三宮センター街を 1 丁目から 3 丁目まで 3 時間ほどかけてゆっくりとご案内し、普段の買い物や団体旅行では伝えられないような「街衆の想い」を店主の皆さんと一緒に話させて頂きました。中には「50 年以上前にお世話になった」と“大学堂眼鏡店”と書かれたマッチを持参された方もおられ、お店や街はお客さまと共に創り上げられていくものだと改めて気付かされました。今回は特別に各丁の振興組合事務所も見学。2 丁目振興組合では、4 月に収蔵するアート作品をご覧頂きながら、久利理事長自ら「ストリートミュージアム」について解説しました。今後も機会があれば、街の想いを伝えていくとともに、お客さまの期待、関心を街にも伝えていければと思います。



★まさに光のアートですね！

2 月 25 日夜 8 時から 2 丁目アーケードの夜間景観事業の一環としてのムービングプロジェクターのデモンストレーションを 2 丁目毛利マークさん前でを行い、貴重な体験をしました。アーケードのドーム天井にムービングプロジェクターを設置し、路面のストリートミュージアムを中心に光を照らすというものです。

驚いたことに路面を照らすこのプロジェクターは優れもので、多彩な色・形を選択でき、一種のアトラクションの様にも感じました。安心・安全で美しいストリートを目指し続けている我が 2 丁目にとって、夜間の明るさがより際立ち、また芸術性もあるこの夜間景観事業は我が街をより良い方向に向かわせる一つの手段になると思います。今後更なる検討をして参ります。



★安里氏が奥様の想いを神戸に届けてくれました

「KOBE 夢・未来号・沖縄」プロジェクトは多くの方々のご支援によって支えられ、今年も 1 月に 44 名の子供さん達に沖縄を知り・学ぶ機会を持って頂くことが出来ました。成功裏に第 8 回を終えたわけですが、このプロジェクトに当初から御賛同を頂き、様々な場面でお力添えを頂いた方に元沖縄県副知事の安里カツ子さんがおられます。沖縄での歓迎セレモニーで子供さん達を「よく沖縄に来てくれました」と、にこやかに抱きしめている写真をご記憶の方も多いと思います。その優しい眼差しに子供さん達は緊張を解きほぐし沖縄の第一歩を踏みしめる事が出来たのでした。子供さん達にとってはまさに沖縄の母とも言える安里さんでしたが、残念ながら病のため惜しまれながら 2013 年 12 月に他界されました。この度、御主人の安里成一氏からこのプロジェクトに役立ててほしいと多額の御寄附を頂きました。そして、「このことは亡き妻の遺志でもあるし、供養になること」と仰っておられました。命の尽きるまで付き添われた最愛の方からの心温まるお話を伺い、胸に熱いものが去来しました。2 月 25 日、お仕事に合わせて三宮センター街へお立ち寄り頂き、わずかな時間でしたが久利理事長とご懇談頂き、亡き安里カツ子さんに対して改めて感謝の気持ちをお伝えし、4 月の「Thanks 沖縄・ANA/SNA」での再会を約束しました。多くの方々のサポートに感謝いたします。

★編集後記

先月の 25 日夜 8 時に多くの役員さんと共にムービングプロジェクターのデモンストレーションを体験しました。詳細は今月号に掲載してありますが素晴らしいパフォーマンスだと感じています。もしかするとこのプロジェクトは私達の街に新たな魅力を与えてくれると信じています。今日まで 2 丁目では「安心安全で美しい街、アートの溢れる街」を目標に街づくりを進めて参りました。今回はさらに「アミューズメントで楽しめる街」という新たな側面が期待でき、より魅力を増すことが出来るのではと思います。このプロジェクトをいかに進めて行くかを今後さらに検討する必要があると思っています。神戸を訪れる方々、市民からお預かりしている 2 丁目のストリートの価値と魅力をより高めて行きたいですね。